

第六十七回帝國議會 衆議院

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル臨時利得稅法案(政府提出) 日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出) 國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出) 廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出) 及東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ 二月二日日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ 出席政府委員左ノ如シ

會議

昭和十年二月四日(月曜日)午前十時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彦君

理事松村 光三君 理事鷲野米太郎君

理事岡田喜久治君

小笠原三九郎君

太田 正孝君

大口 喜六君

上田 孝吉君

森田 福市君 綾部健太郎君

山本 厚三君 後藤 亮一君

前田房之助君 小川郷太郎君

矢野庄太郎君

同月二日委員重松重治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ堤康次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一月三十一日日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)、國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)、造幣局ノ

廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出) 及東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

二月二日日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

外務參與官 松本 忠雄君

外務省文化事業部長 岡田 兼一君

外務書記官 岡本 季正君

大藏政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏省外國爲替管理部長 和田 正彦君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル

爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)

國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)

造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

東京高等農林學校及函館高等水産學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)

○岡田委員長 會議ヲ開キマス、皆サンニ申上ゲマスガ、前會ノ開會以後ニ此委員會ニ併託サレタモノガアリマスカラ、念ノ爲ニ茲ニ讀上ゲマス、日本銀行納付金法中改正法律案、國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案、造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案、東京高等農林學校及函館

高等水産學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、日本銀行金買入法中改正法律案、

以上デアリマス、ソレデ尙ホ諸君ニ御諮リシマスガ、今日ハ内閣總理大臣、ソレカラ大藏大臣、兩軍部大臣ノ出席ヲ求メテ居ッタデアリマスガ、大藏大臣ハ御缺席デアリマス、然ルニ此公債發行ニ關スル法律案、利得稅ノ法案竝ニ日本銀行納付金法中改正法律案ト云フモノハ、何レモ一般

的ノ御質問ヲ先以テシタイト云フ御通告ガ多イヤウデアリマス、サウ致シマスレバ此案ハ後廻シニ致シマシテ、大藏大臣其他ノ當該大臣ノ御出席ノ出來ル日ヲ待ツテ、政府ノ説明竝ニ一般ノ質問ヲ始メタイト思ヒマスカラ、左様御承知置キテ願ヒタイト思ヒ

マス、其他ノ案件ニ付テハ、便宜上今日政府ヨリ御説明ノアル分ハ聽イタラドウカト思ヒマス——ソレデハ先程ノ私ノ宣言ヲ一部訂正致シマス、後廻シニシヨウト言ヒマシタ分ニ付テモ、政府提案ノ理由ヲ今日御説明ガアルモノハ伺ツテ置キタイト存ジマス、ソレカラ尙ホソレニ先立チマシテ、材料ノ要求ガアリマスカラ、其發言ヲ許シマス

○森田委員 材料ノ要求ヲ此間シタモノヲ修正シテタイトデアリマスガ、其積リデ

御聞キテ願ヒタイトデアリマス、第一、昭和四年乃至昭和八年度ノ各年度分ノ第一種所得稅課稅法人數、所得金額及所得稅額表、

二、同上超過所得稅ヲ課セル法人ノ數、超過所得金額及超過所得稅額表、三、同上超過所得金額竝ニ稅額ヲ稅率別ニ區分セルモノ、

四、同上第一種所得稅ヲ課セル法人數、拂込資本金額、積立金額、利益金額ニ關スル

調、五、昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ、(一)臨時利得稅法ニ依ル對資本金額年利益七分以下ノモノ、(二)同ジク七分ヲ超ユルモノトニ區別セル各法人數、資本金額、課稅所得金額、所得稅額表、六、臨時利得稅法ニ依ル平年度分ノ課稅法人竝ニ個人ノ員數、同利得金額、利得稅額ノ見込調、七、

昭和五年乃至九年ノ各年分ノ第三種所得稅竝ニ個人營業收益稅ノ課稅人員、所得金額又ハ營業收益金額、所得稅額又ハ營業收益稅額表、八、往年ノ戰時利得稅法ニ依リ課稅シタル法人ノ數、同ジク資本金額、利得金額、利得稅ノ各年度別調表、ソレカラ其他ハ矢張豫算委員會ニ御出シニナッタモノ

ノ中、司法關係其他財政經濟ニ直接的關係ナキモノヲ除ク以外ノモノ全部ト云フコトハ、前同ト同様デアリマス、ソレカラ

一、第六十六議會豫算編成當時ノ災害ニ關スル基礎材料、二、其後ノ調査ニ基ク最近ノ基礎材料、ソレカラ改メテ一、外債ニシテ内地人所有ノ種別、金額氏名等ノ詳細表、是ハ公債及東京市、橫濱市ナドガ發行シテ居ル外國ニ於ケル市債ノ外債、電力會社ナドノ發行シテ居ル社債等ノ、所謂我國ノ公私社債デアッテ、外國デ發行シタモノガ

日本ニ還ッテ居ル公債、市債、社債ノ種類及金額、及其最近ノ持ッテ居ル人々ノ詳細、是ダケデアリマス

○岡田委員長 其他ニ材料ノ御要求ガアリマセヌカ

○松村委員 昭和五年以降昭和九年マデ政府ノ海外拂各省別ノ明細書ヲ、速ニ御出シ願ヒタウゴザイマス

○岡田委員長 一寸政府ニ伺ヒマスガ、此第一回ノ時ニ松村君カラ材料ヲ要求シテ居リマシタガ、今日全部御提出ガ濟ミマシタカラ御要求ニナリマシタノハ、今日持ッテ來テ居ルノデアリマスガ、只今森田サンカラ訂正シテ、是ト併セテ出セト云フコトデゴザイマスカラ、持ッテ來テデアリマスガ、更ニ修正致シテ出シタイト思ヒマス

○岡田委員長 或ハ此前ノ表ハ戴イテ置イ

テ更ニ補充シタラバ——御持チノ分ハ御配付ニナリマシテ、尙ホ御修正ノ分ハ他日森田君ノ質問ニ併セテ——ソレデハ政府カラ御説明ノアル分ハ此際伺ヒマス

○矢吹政府委員 ソレデハ先以テ昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案竝ニ昭和七年法律第一號中改正法律案ニ付キ、提出ノ理由ヲ大體御説明ヲ致シマス

先ツ昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ申上ゲマスガ、御承知ノ通り、昭和十年度一般會計ノ歳出豫算ハ總額二十一億九千三百餘萬圓デアリマシテ、右ニ對シマシテハ普通財源十四億四千三百七十餘萬圓、及既ニ成立シテ居リマスル震災善後公債法、道路公債法ニ依ル公債竝ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲發行スル公債金ノ合計一億八千三百七十餘萬圓ノ外、尙ホ五億六千五百八十餘萬圓ノ公債ヲ發行スルコトヲ必要ト致シマスノデ、新ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマス、尙ホ昭和十年度歳出豫算ノ中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル、結果ニナルデアラウト存ゼラレマスガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ昭和十年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌノデ、翌年度ニ於テ

募債スルコトガ適當デアルト認メマス、右ノ爲メ本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス

次ニ昭和七年法律第一號中改正法律案ニ付キ御説明致シマス、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲ニハ昭和七年法律第一號ニ依リ、昭和九年度迄ノ所要額ニ對シ、六億五千十萬圓ノ限度ニ於テ公債ヲ發行シ得ルコトニナッテ居ルノデアリマス、昭和十年度滿洲事件費ノ總額ハ、一億八千四百三十餘萬圓デアリマシテ、右ノ内朝鮮總督府及關東局兩特別會計ノ分ハ、全部普通財源ヲ以テ支辨スルノデアリマスガ、一般會計ノ分ハ滿洲國防費分擔金受入等ニ相當スル金額一千十餘萬圓ヲ差引キマシタ一億七千四百餘萬圓ハ、今日ノ財政狀況竝ニ本經費ノ性質ニ鑑ミマシテ、從來ノ如ク之ヲ公債財源ニ依ルコト、致シマシタ、是ガ爲メ昭和七年法律第一號中ノ發行限度ヲ一億七千五百萬圓増加シ、八億二千六十萬圓ニ改ムルノ必要ガアリマスノデ、本改正案ヲ提出シタ次第デアリマス

○岡田委員長 諸君ニ一寸申上ゲマスガ、臨時利得稅法案ノ分ハ本會議ニモ詳シク御説明ニナッテ居リマスカラ、何レ當該大臣ノ御出デノ際ニ御質問ナサルヤウニシタラドウカト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス、

其他ニ政府ヨリ特ニ御説明ノ法案ガアリマスレバ、此際願ヒマス(「本會議以上ニ詳シク御説明ガアルノデヤナイデスカ」ト呼フ者アリ)政府委員ニ照會シマスガ本會議以上ニ詳シク御説明ガアルナラバ此際ニナステットモ差支アリマセヌ

○矢吹政府委員 臨時利得稅法案ハ本會議デ説明致シマシタガ、委員會ニ於テ少シ詳シク御説明申上ゲタイト思ヒマス

○岡田委員長 ソレデハ此際御説明願ヒマス

○矢吹政府委員 ソレデハ臨時利得稅法案ノ内容ニ付マシテ、大體ノ御説明ヲ致シタイト存ジマス、本稅ハ近時一部ノ産業界ガ時局ノ好影響ヲ受ケテ活況ヲ呈シ、收益ノ増加シツ、アル情勢ニ鑑ミマシテ、國庫收入ノ増加ニ資スルノ趣旨ヲ以テ、是等産業ニ對シテ臨時ノ新稅ヲ設ケ、其ノ増加セル利益ノ一部ヲ納付セシメントスルモノデアリマシテ、其ノ法案ノ主要ナル點ニ付説明致シマスレバ

第一、本稅ノ納稅義務者ハ大體稅法施行地ニ住所又ハ居所ヲ有スル者ト致シマシタ、本稅ヲ課稅スベキ利得ハ、所得稅法ニ依リ算出シタル營業所得ヲ基本トシテ、算出スルコトニ致シマシタノデ、納稅義務者

モ亦所得稅ト同様ニ致シタ次第デアリマス

第二、本稅ハ法人ノ利得ト個人ノ營業ノ利得ニ對シテ、課稅スルコトニ致シマシタ、右ハ時局ノ好影響ヲ受ケテ收益ノ増加ヲ示シテ居リマスモノハ、主トシテ軍需品工業、輸出品工業等ヲ初メトスル各種ノ營業部門デアリマスノデ、營利法人ノ利得ト個人ノ營業ヨリ生ズル利得ヲ以テ、本稅ノ對象ト致シタノデアリマス

第三、課稅利得ノ計算ハ、法人ノ利益又ハ個人ノ營業利益ヨリ、昭和六年以前二年間ノ平均利益ヲ控除シテ算出スルコトニ致シマシタ、右ハ時局ノ好影響ニ因リ收益ノ増加シタルモノニ課稅スルノ趣旨ニ依リマシテ、一定期間ノ業績ヲ基準トシ、其間ノ利益ヲ觀テ其ノ差額ヲ計算スルノ必要ガアリマス、而シテ此一定期間ハ本稅ノ性質ト課稅技術ノ點ヨリ觀マシテ、經濟界ニ現在ノヤウナ情勢ガ發生スル以前デアアルコト、及ビ出來得ル限り直近ノ時期デアアルコトヲ適當ト考ヘマス、我國經濟界ガ漸次恢復シテ參リマシタノハ昭和七年以降デアリマシテ、爾來諸種ノ時局對策ノ實施等ニ伴ヒ、一部産業界ハ今日ノ好調ヲ來シタノデアリマスガ故ニ、大體此時期ヲ以テ適當ト認メタ次第デアリマス

第四、昭和六年以前二年間ノ平均利益ガ

過少ナル場合、又ハ新ニ營業ヲ開始シタル場合ニ於キマシテハ、法人ニ在リテハ其資本金額ノ年七分ニ相當スル金額ヲ、個人ニ在リテハ三千圓ヲ以テ夫々當時ノ平均利益ト看做スコトニ致シマシタ、右ハ昭和五年、六年ニ於ケル實績ガ過少デアル者、或ハ缺損デアル者ニ對シテ、前申述ベマシタ利得ノ計算方法ヲ其儘適用スルコトハ、苛酷ニ互ル惧ガアリマスノデ此點ヲ緩和シタ次第デアリマス、新規開業ノ者ニ付キマシテモ、右ト同様ノ取扱ヲナスコトニ致シマシタ

第五、課税利得ハ法人個人共ニ二年二千圓ヲ超ユル金額ニ限ルコトトシ、尙個人ニ在リテハ其ノ年ノ營業利益ガ六千圓未滿ノ者ニハ課税シナイコトニ致シマシタ、右ハ其年ノ業績ヲ昭和五、六年ニ比較シテ、苟モ増益アレバ其額ノ如何ニ拘ラズ、直チニ課税ノ對象ト爲スコトハ本税ノ趣旨ト課税技術ノ點ヨリ觀マシテ、適當ナラザルモノガアリマスノデ、此ノ程度ノ額ヲ控除スルコトニ致シタ次第デアリマス、又個人ニ限り營業利益六千圓未滿ノ者ヲ除外致シマシタコトハ、個人營業ノ實體ニ鑑ミマシテ其ノ利益大ナラザル者ハ本税ノ對象トセザルヲ適當ト認メタ次第デアリマス

第六、法人ノ資本金額ガ昭和五、六年當時ニ比較シテ増減アル場合ハ、現在ノ資本金額ニ昭和五、六年當時ニ於ケル平均利益率ヲ乘ジテ算出シタル金額ヲ、當時ノ平均利益ト看做スコト、シ、右ノ平均利益率ガ年七分ニ達シナイトキハ、之ヲ年七分トシテ計算スルコトニ致シマシタ、右ハ法人ノ利益ハ其資本ノ異動ニ伴ヒ、増減スルノガ普通デアリマスガ故ニ、資本ノ増減ニ適應シタ平均利益ヲ算出スルコトニ致シタ次第デアリマス

第七、税率ハ課税利得ノ百分ノ十ト致シマシタ、現行所得税ニ於キマシテ、個人ニ對シテ累進税率ヲ用ヒテ居リ、又法人ニ對シテモ其ノ超過所得税ニ付、累進税率ヲ適用シテ居リマスノデ、現在ノ負擔ヲモ考慮シテ此程度ノ比例税率ヲ課スルヲ以テ適當ト認メタ次第デアリマス、其他本税ノ調査、決定、納期、救済方法等ハ大體現行所得税ニ準ズルコトニ致シマシタガ、本税ニ對シマシテハ其性質ニ鑑ミ、地方團體ノ附加税ノ賦課ヲ認メナイコトニ致シマシタ、尙本税ハ當分ノ内施行ノ見込デアリマシテ、其收入ハ昭和十年年度ニ於テ三千三十餘萬圓ノ豫定デアリマス、以上ハ本法案ノ大體ノ説明デアリマス、何卒十分御審議ノ上速ニ御協

贊アランコトヲ望ミマス、其他ノ法案ニ付テハ委員會デ特ニ御説明申上ゲルヤウナ用意モシテ居リマセヌ、御質問ニ依ッテ御答申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○岡田委員長 提案ノ理由ハ別ニタイト云フ意味デスカ
○矢吹政府委員 サウデス
○岡田委員長 其他ノ法案ハ政府ヨリ特ニ御説明ガアレバ此際伺ヒタイトデス、外務省モアリマスシ、文部省モアリマスカラ――本會議以外ニ特ニ御説明ナケレバソレデ宜シウゴザイマスガ……

○矢吹政府委員 別ニ外ニハ此委員會デ特ニ御説明申上ゲルヤウナ事ハゴザイマセヌ
○岡田委員長 ソレデハ先程ノ御話ノ通りニ致シマス、是デ今日ハ止メタイト思ヒマス、此次ハ明日午前十時ヨリ開クコトニ致シマシテ、大藏大臣、軍部兩大臣、總理大臣、是ダケノ出席ヲ求メルコトニ致シ積リデアリマス、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午前十一時散會